

# 親子で巨大鍋クッキング! 終了報告

終了報告

## 平成27年6月21日 愛川ふれあいの村 主催事業

愛川ふれあいの村の主催事業、「親子で巨大鍋クッキング」を開催しました。親子80名の方にご参加いただき、直径150cmの巨大な鍋で全員分のパエリアを作りました。朝から雨が降っており、はじまりのつどいはブルーシートで作った屋根の下で手遊びと班の中での自己紹介をして、クッキングへ突入!



今回のメニューは『パエリア』と『ポトフ』全員が食べるパエリアを全員で、ポトフは班で協力して作っていきます。まずは、パエリアに入れる野菜を抽選で決めます。各班の代表1人にくじをひいてもらいます。くじをひき開いてみると「にんにくだ〜」、「やったパプリカだっ!」と班によってさまざまな反応がありました。



その後は、食材を切る係とかまど係に分かれ、説明を聞いて調理スタート! 調理と同時に火起こしを始めます。ポトフの野菜が切れたら、鍋に入れ、火にかけ時間をかけてじっくりと煮込み、野菜に火を通します。





各班、ポトフを火にかけてから、お待ちかね『パエリア作り！』。まずは、鍋に油をひいて食材を炒めていきます。さあ、ここでみんなの出番です！みんなで「に～んにく！に～んにく！」と、入れる食材の名前を繰り返し大きな声で呼んでいきます。「と～りにく！」など、みんなで大きな声を出してすべての食材を投入していきます。みんなの重なった声は歓声のように聞こえ、まるでスポーツの試合を行っているスタジアムのような様子でした。



パエリアのスープを入れ、ブロッコリーの花の部分やパプリカを入れ色どりよく、炊き上げます。その間に食事の準備！お皿とお茶のいったコップをおとなと子どもみんなで食卓に運びます。食べる準備ができたなら、巨大鍋のフタを開けます。みんなで大きな声を出してカウントダウン「5・4・3・2・1、オープン！」



フタを開けると、湯気が出て「うわぁ～おいしそう！」と笑顔になる子どもや興味津々に鍋をのぞきこむおとなの姿が！みんなのパエリアを早く食べたいという気持ちで巨大鍋の周りが一気に人で埋め尽くされてしまいました。出来たてをお皿に盛りつけ、班ごとに「いただきます。」「おいし～い！」と声が飛び交っているかと思いきや…、あまり声が聞こえない…。不思議に思ってテーブルを見まわすと、そのおいしさ故か黙々とパエリアとポトフを食べている皆さん。ポトフに使ったニンジンがとても甘くおとなの皆さんからとても好評でした。子どもたちもパエリアがおいしかったようで、「おかわり！」と巨大鍋のところに来てくれた子もいました。



パエリアを食べたら、お片付け！みんなで使った道具は、みんなで片付けます。みんなで巨大鍋用のヘラを洗ったり、スタッフと一緒に道具を片付けたりと、みんなが進んで片付けをしてくれました。片づけコーナーには、「ふきんはこっち！うちわはあっちだよ！」とリーダーのように言ってくれる子どももいました。



今回の巨大鍋クッキングでは、パプリカ以外の野菜はすべて愛川町産のもので、中には収穫してから3日以内の野菜もありました。「食」という漢字は「人」と「良」という漢字が入っています。良い物を食べると健康になりますよね。ぜひ、今後の生活の中でその日のメニューに合わせて地産の食材を使っただけ、『食』に対して今よりも1歩踏み込んでいただけたら嬉しいです。今回はご参加いただき本当にありがとうございました。また、愛川ふれあいの村で会えることを楽しみにしております！

文責：鷲山（わっしゃー）